

令和3年の始まり

ジオモニターツアー
(令和3年3月/4日)



史蹟 三河國分尼寺跡

「ほの国の中心“豊川”をめぐる」をテーマに豊川市内で、中央構造線が作った豊川の地形と、古代人のくらしの要衝をたずねました。豊川左岸の段丘上にある兔足神社と、縄文時代晩期の貝塚、隣接する五社稲荷を見学し、段丘崖沿いに三明寺に向かいました。湧水池、三重塔、内宮殿の国指定重要文化財など貴重な文化遺産を見学することができました。最後に穂国の中心地であった三河國分寺、國分尼寺をたずねました。

寺の礎石には、この地方の基盤岩である領家片麻岩が使われていました。



国分寺の礎石



鳳来寺山
自然博物館

生物だより

- セツアソウ咲く 1月29日
- ツバメ飛来 3月23日
- ソメイヨシノ咲く 3月27日
- ヤマサクラ咲く 3月29日
- ヤマアキ咲く 3月25日

ショウジョウバクマ咲く (令和3年3月28日)

赤紫色の花を狸マの顔の色、葉を袴に見たてた名前です。少し湿った山の斜面に群生します。当館に至る参道沿いの山側の土手でも見ることが出来ます。花が終わると花茎がさらに伸びて30~40cmほどになります。とてもきれいな花ですが、頭上の桜などに気をとられていると、見すごしてしまいます。



千寿が峯探索 (令和3年/月/10日)

友の会の冬の自然探検の下見でした。丸山会長の案内で、友の会役員と館職員がコースを確認しながらの登山でした。この峯山は利修仙人が修業をし、長寿の法を体得したことが名前の由来になっています。また、義経と浄瑠璃姫の悲恋の物語が残る地でもあります。山頂の石碑とマンガン鉱の採掘場所を確認できました。

巣箱調査 (令和3年3月7日、くもり)



友の会役員の山本、澤田、城所さんと博物館職員で行ないました。今年は高德林道を入った谷に掛けた巣箱の調査をしました。仙人の護摩所がある地域です。コハズの使用の痕跡はありませんでしたが、カラ類が使っていました。

フクロウ受入保護 (令和3年/月/23日)

設楽の岩古谷で右翼を骨折したフクロウが保護され、この日博物館にやってきました。食欲旺盛でよく食べます。しかし、右翼は飛べるようにはならない重傷です。



博物館ザッ記 No.21 2021-III

友の会行事「冬の自然探検」 (令和3年/月/31日)

久しぶりの野外行事で定員を超える申し込み者でした。そこで全員の希望をかなえる為、2班に分かれて実施しました。事前の下見をしたにもかかわらず、第2班はマンガン鉱山跡のルートで迷い、あやうくたどり着けない事態になるところでした。ようやく到着した時は胸をなでおろしました。



学校の利用・視察

- 1月27日 鳳来東小学校5・6年生(8+2名)
館内見学と化石採集体験
- 2月16日 北設教員研修
- 2月17日 松井副知事 野村新城設楽事務所長
博物館視察
- 3月8日 鳳来寺小学校出前教室(4名)
- 3月10日 東郷中学校1年生ガイドツアー(76+7名)
- 3月15日 東陽小学校6年生ガイドツアー(19名)
- 3月22日 豊根中、津具中、東栄中学校オンライン授業
設楽地方(奥三河)の大地の成り立ち
- 3月24日 東栄町文化財審議会委員視察
博物館資料の展示と収蔵